

令和6年度 第1回瑞浪市文化財審議会 会議録

■日 時：6月18日（火）14時00分から15時30分まで

■場 所：瑞浪市化石博物館（別館：研修室）

■出席者：青木本吉、小木曾健夫、小栗幸江、小栗 茂、小倉明人、澤井計宏
三戸憲和、柴田明芳

欠席者：渡邊敏博

事務局：水野課長、砂田係長、安藤主査、河野主査

■委嘱状交付

新任の澤井委員へ交付。

■あいさつ

（内容は省略）

■報告事項

（1）令和5年度 文化財関連事報告について

会 長：それでは、令和5年度文化財関連事業報告について事務局からの説明を求めます。

（資料1を用いて、事務局から令和5年度事業について報告）

会 長：只今事務局から説明があった事業報告について、ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

委 員：学校との連携という点では、パレオパラドキシアを題材にした出前授業や展示解説、また明世小学校児童の陶芸作品を陶磁資料館で披露した展示学習は素晴らしい実績と考える。新博物館建設後の新たな取り組みにもつながると思うのでぜひ継続していただきたい。

委 員：市指定文化財の中には、のぞきからくりのように傷みや劣化が進行し、公開できなくなっているものがある。見学を希望する問い合わせには、保存を理由に非公開となっていることを説明し、過去に撮影した写真の閲覧で理解を求めているのが現状である。見学や公開ができない文化財については、非公開であることや写真の閲覧のみといった対応となること等の周知に努めるべきではないか。

事務局：寺社や個人の所有になっている文化財については、周知に努めるが必要があると考えている。今後、市ホームページや改訂する文化財冊子に「非公開」や「写真のみの閲覧」といった文言の追加等を検討する。

委 員：失われつつある文化財への対応についても伺いたい。伝統文化の後継者育成について、保存団体の中には活動継続が困難な団体もあると聞いている。保存団体メンバーの少子高齢化が要因とみられるが、若いメンバーの中には存続させたいという意見もあると聞いている。無形

の伝統芸能は一度絶えると復活するにはかなりの時間とエネルギーが必要となる。存続しているものは今後も残していくべきだと考えるが、保存団体の運営について、本審議会が意見や提言といった措置をとれるのか伺いたい。

事務局：まずは地元住民がどう考えるかが重要な課題であるが、本審議会は、文化財の保存や管理等について建議することも任務としている。よって必要があると認めたときは、審議会としての意見や提言を市に対して発出し、間接的ではあるが、それを保存団体に伝えることは可能と考える（瑞浪市文化財保護条例第10条及び第14条参照）。

（2）令和6年度文化財関連事業計画について

会長：続いて、令和6年度文化財関連事業計画について事務局からの説明を求める。

（資料2を用いて、事務局から令和6年度事業について説明）

会長：只今事務局から説明があった。事業計画について、ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

委員：未指定文化財の申請1件が提出見込みとあるが何か。

事務局：大湫町に所在する大湫観音堂である。所有者より申請したいとの相談があったが、現在までに申請されていないので近日中に意向を確認する。

（3）深沢峡のクマガイソウ自生地について

会長：続いて、深沢峡のクマガイソウ自生地について事務局からの説明を求める。

（資料3を用いて、事務局からクマガイソウ自生地について説明）

事務局：『瑞浪市の文化財』の改訂に伴い、先月事務局にて自生地の現状を確認した。現地はシダが密生し、スギの倒木などで荒廃しており、自生は確認できなかった。また、自生地までのアクセス道路が崩落等によって危険な状態であるため、市ホームページや文化財冊子の改訂時に明記する必要があると考える。

会長：只今事務局から説明があった。自生地の現状について、ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

委員：種子は休眠することがあるため、自生の妨げになっているスギ林の高木が将来的に伐採され再度陽光が多く入ってくれば、自生地は復活する可能性がある。

事務局：それでは、来年4月～5月ごろに事務局と、植物を専門分野とする三戸委員とで再度自生地を確認しようと思うが、いかがか。

三戸委員：承知した。

(4) 深沢峡のシャクナゲ自生地について

会 長：続いて、深沢峡のシャクナゲ自生地について事務局からの説明を求める。

(資料4を用いて、事務局からシャクナゲ自生地について説明)

事務局：『瑞浪市の文化財』の改訂に伴い、今月事務局にて自生地の現状を確認した。指定区域とされている範囲内を歩いたが、自生は確認できなかった。シャクナゲ自生地についても、来年4月～5月ごろに事務局と三戸委員とで再度自生地を確認したいと思うが、いかがか。

会 長：只今事務局から説明があった。自生地の現状について、ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

三戸委員：クマガイソウ自生地とあわせ、事務局とともに自生地確認を実施する。

■協議事項

(1) 中山道整備基本計画策定懇談会の参加者について

会 長：続いて、中山道整備基本計画策定懇談会の参加者について事務局からの説明を求める。

事務局：事務局では、令和6年度から令和7年度にかけて「中山道整備基本計画」の策定を予定しており、策定に伴い懇談会を設置する。この懇談会に本審議会委員からも1名の参加をお願いしたい。出席者の選任にあたり、4つの案を提案したい。1つ目は本審議会を代表して柴田会長を選任する案、2つ目は中山道が所在する日吉町に在住の小木曾委員とする案、3つ目は同様に所在する大湫町に在住の三戸委員とする案、4つ目は史跡整備の経験を有する澤井委員とする案である。各委員のご意見を伺いたい。

委 員：専門知識と経験を有する澤井委員が適任と考える。

会 長：澤井委員を推薦する意見が出された。澤井委員いかがか。

澤井委員：それでは、懇談会に参加させていただく。

会 長：それでは、懇談会の参加者は澤井委員とする。

■その他

(1) 『瑞浪市の文化財』の改訂について

会 長：続いて、『瑞浪市の文化財』の改訂について事務局からの説明を求める。

事務局：本年度刊行を予定している冊子の素案を事務局にて作成したので、内容の確認・修正を各委員をお願いしたい。期限は7月31日(水)までを目処とし、各委員の分担については在住の地区ごととしたがいか

会 長：只今事務局から説明があった。素案の内容や確認・修正を行う各委員

の分担について、ご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

委員：素案では専門用語等にルビが振られていないが、どうすべきか。委員が確認時に指摘するものなのか。

事務局：ルビは素案の段階では入れていない。現行の冊子ではルビが振られており、後日事務局で追加予定である。

委員：掲載写真は変更するのか。

事務局：一部変更する。全てではないが、可能な限り最新の写真に差し替える予定である。

委員：専門外の記載部分は確認が難しい場合もあると考えるがどうか。

事務局：それでは、居住地区の文化財と各専門分野の文化財の両方を確認していただく割り振りに変更したい。

委員：素案のどこをどのようなポイントを確認すればよいか、事務局でチェック項目のようなものを作成してもらえるとありがたい。誤字脱字のみでよいのか、記載内容が適切か等、どこまで確認するのかルール決めが必要と考える。

事務局：承知した。ご指摘いただいた意見を踏まえ、事務局にて各委員の分担箇所を決め、確認時のチェックリストも作成し、後日送付させていただきます。

【散会】